

樟木館日和

しゅもくかんびより ◆ 第七号



発行日:2013年3月27日

発行:文化のみち樟木館

指定管理者:特定非営利活動法人樟木俱楽部



茶室 撫松庵 (ふしうあい)

昭和初期頃、井元邸(現在の樟木館)に移築されたと伝えられている。
中板向切の構えは大変珍しいとされ、
人々は幕末の建築であるともいわれている。

「撫松」とは、2代目当主、井元松藏氏の茶号。

春から初夏にかけて紫蘭(しらん)や著莪(しゃが)の花が咲く
庭園内にある茶室は、貸室として利用可能。

伝える、 伝わる。



樟木館の茶室「撫松庵」

ぶしょうあん

樟木館(旧井元邸)は「白壁・主税・樟木町並み保存地区」内で唯一、名古屋市の「有形文化財」に指定されている。館内の庭園西端にある茶室(茶席)を建てたのは初代井元為三郎翁だが、二代松蔵翁の茶号の「撫松」から「撫松庵」と呼ばれている。



昭和八年(1933)の井元家の建築図面には記載がなく、同十三年、庭園で茶会を開かれており、この間に建てられたと考えられている。茶室の調査では移築の痕跡が希薄として、新築と推測されている。茶室では移築された茶室を移築したと伝えられる。茶室の一部を京都から持ってきたのが、井元家では京都より幕末に建てられた茶室を移築したとも伝えられる。茶室の一部を京都から持ってきたのかも知れない。

この小間茶席(二

畳目口・三畳中板席)は丸畠(一畳)の点前座、台目畠(丸畠の約

3/4)二畳と中板

の客座、半畠床で構成され、台目畠二畳の水屋を伴う。

市内では無料で自由に見学出来、誰もが気軽に使える(要予約・有料)市有形文化財の茶室は撫松庵だけではない。

中板は千利休の孫、千元伯宗旦(わび宗旦)が創始したと言われ、千家中興の祖、表千家七代如心斎天然が「一畳中板席を好んだ。

「茶道答跡」に「中板 大徳寺の行者山田氏に元伯好

心斎好 一畳半中板 翁好(後略)」と記す。

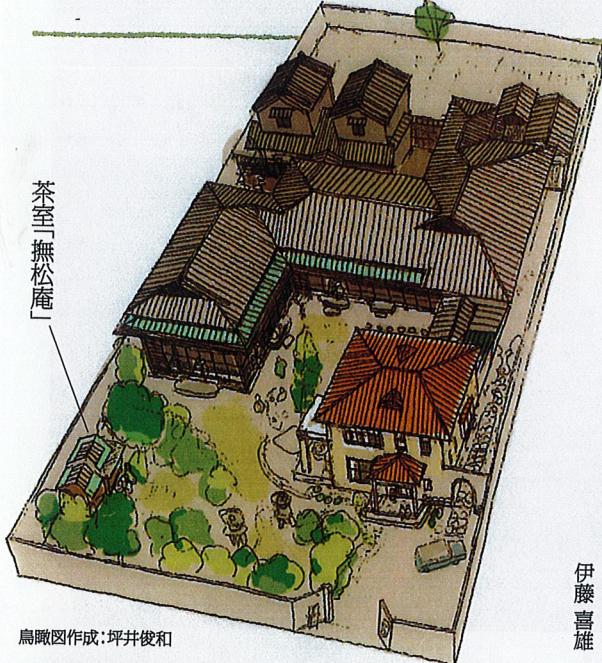
一翁宗守は宗旦の次男で、三千家のひとつ武者小路千家の初代。中板は利休の小間茶席(四畳半まで)の形を崩さず、僅かだが広さを確保して、点前座と客座との緩衝帯、道具を置く場所として機能した。

水屋の円形下地窓や挿み敷居の躰口、貴人口、茶道口、雲雀口、半畠床、赤松丸太の床柱、突き上げ窓、向切の入戸など見るべき所は多く、水屋の天袋の引手と母屋の書院座敷の書院地袋の引手に竹節を使っているのは、樟木館和館の書院座敷から見える茶室を意識したのか。茶室で抹茶を戴きながら、下地窓から日本庭園を隔て、異文化のアメリカンズパンシューの洋館を眺める景色は、それまでの茶室には無かった趣だ。

常に海外を見据えアメリカや南洋との陶磁器輸出貿易で大成した井元為三郎ならではの、和洋融合の趣向なのだろう。

NPO法人樟木倶楽部理事長

伊藤喜雄



鳥瞰図作成:坪井俊和

樟木館カフェ



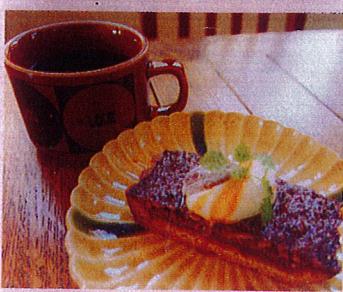
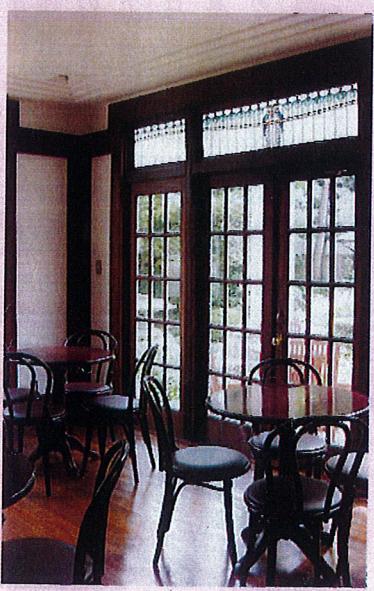
「樟木館カフェ」

樟木館の洋館一階(旧応接室)に、すてきなカフェが

期間限定でオープンしました。(※5月末まで)
大正末期当時の美しいステンドグラスを眺めながら

フェアビーンズコーヒーの香り高いドリップコーヒー エスプレッソドリンク、ランチメニューや
美味しいスイーツなどをお楽しみいただけます。
(※カフェのみをご利用の場合は入館料は必要ありません)

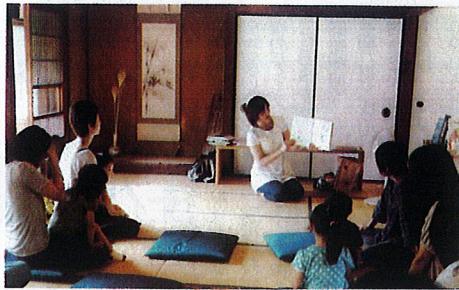
定休日:月曜日(祝日の場合は翌平日)
TEL 070-6412-3279



文化のみち樟木館では、大人から子供まで楽しめる様々な催し物を開催して、皆さまのお越しをお待ち致しております。昭和初期の「歴史・文化」に触れ、そこから新しい「文化」を発信する。樟木館がこれまでたどってきた「歴史」を継承しつつ、私たちの手で新たな「歴史」をつくる。それが、「文化のみち樟木館」のめざすところです。

樟木館では毎月第2日曜日に絵本の読み聞かせをおこなっています。約1時間のあいだに絵本読み聞かせや紙芝居、わらべうたや手遊びなど表現豊かに繰り広げられる絵本の世界を楽しむ事ができます。担当するのは、平成24年9月、樟木館絵本展での読み聞かせをきっかけに結成された、「こやぎの会」。代表を務める八木さんは、「絵本の世界を通じて、年齢に関係なくあらゆる世代に楽しんでほしい。大人が久々に読むことで、子どもの時の気持ちを思い出したり、お母さんと子どもの大切なコミュニケーションツールとしての役割を担う絵本は、描かれている内容が育児のヒントになるなど、得る事も多いので、親子では是非楽しんでほしいですね」と語ります。

大人から子供に



樟木館絵本読み聞かせ
開催日時：毎月第2日曜日
午前10時30分～（約1時間）
入場無料（要入館料 大人200円・中学生以下は無料）
開催場所：文化のみち樟木館 館内

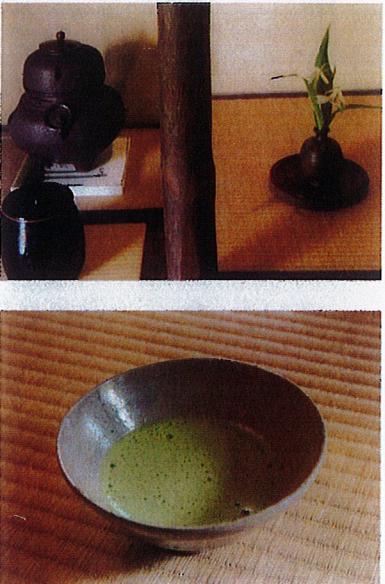
樟木館では毎月第2日曜日に絵本の読み聞かせをおこなっています。約1時間のあいだに絵本読み聞かせや紙芝居、わらべうたや手遊びなど表現豊かに繰り広げられる絵本の世界を楽しむ事ができます。担当するのは、平成24年9月、樟木館絵本展での読み聞かせをきっかけに結成された、「こやぎの会」。代表を務める八木さんは、「絵本の世界を通じて、年齢に関係なくあらゆる世代に楽しんでほしい。大人が久々に読むことで、子どもの時の気持ちを思い出したり、お母さんと子どもの大切なコミュニケーションツールとしての役割を担う絵本は、描かれている内容が育児のヒントになるなど、得る事も多いので、親子では是非楽しんでほしいですね」と語ります。

伝える、
伝わる。



【定期観覧券のご案内】
ご購入いただいたその日から一年間有効の定期観覧券が大変お得です。あらゆるイベントに是非ご利用ください。
一般800円・敬老（※）200円
〔※名古屋市内在住の高齢者（65歳以上）で
敬老手帳ご持参の方〕

季節の茶会がはじまります



平成24年度 催し物暦（9月～3月）

9／5～9／17

家原美術館

9／25～10／8

樟木館で楽しむ絵本の世界

10／13～10／21

◆伊勢型紙で彫る
東海の祭り展

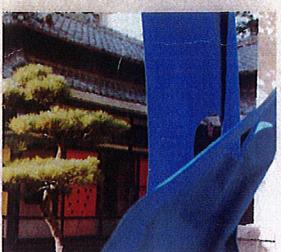
12／8～12／16

◆都市を映す家・
樟木館アート展

1／22～2／3



2／23



文化のみち樟木館では、館主催イベントをはじめ、貸室利用を年間を通しておこなっています。当館では和室・洋室・茶室・蔵・庭をお貸しします。詳しくは下記の電話番号、ファックス番号へお問い合わせください。ホームページをご覧ください。